



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 都築電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8157 URL <https://www.tsuzuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江森 勲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 平井 俊弘 (TEL) 050-3684-7780  
 コーポレート企画統括部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	53,006	△6.2	221	△79.0	230	△78.2	149	△77.3
2020年3月期第2四半期	56,507	10.9	1,054	193.0	1,057	131.8	658	107.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 512百万円(△5.3%) 2020年3月期第2四半期 541百万円(96.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	8.57	—
2020年3月期第2四半期	38.10	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	71,518	29,719	41.3	1,687.56
2020年3月期	77,448	29,752	38.4	1,706.19

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 29,568百万円 2020年3月期 29,752百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	45.00	55.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	21.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

記念配当 5円00銭

2021年3月期 第2四半期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当5円00銭(東証一部上場記念配当)

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	△10.7	2,700	△39.4	2,750	△39.9	1,800	△43.0	102.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P12. 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	22,177,894株	2020年3月期	22,177,894株
2021年3月期2Q	4,656,491株	2020年3月期	4,739,641株
2021年3月期2Q	17,458,214株	2020年3月期2Q	17,274,076株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 自己株式については、役員報酬BIP信託口が所有する当社株式(2021年3月期2Q 380,905株、2020年3月期277,431株)及び株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(2021年3月期2Q 496,400株、2020年3月期472,650株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年11月18日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配賦する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、依然として厳しい状況が続いております。先行きについても新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから引き続き不透明な状況であります。

こうした環境の中、情報ネットワークソリューションサービス事業においては、感染拡大前に受注した案件や売上高が当期に延伸した案件、旺盛なリモートワーク需要などがあった一方、外出自粛等により営業活動に制約を受けたことや前期のマイクロソフト製品のサポート終了に伴うサーバ・PCの更新需要の反動により、受注高、売上高、営業利益とも減少いたしました。なお、中期経営計画の重点施策である「サービス化による事業構造の変革」として、2020年9月30日に株式会社コムデザインの子会社化を行いました。当社グループのコンタクトセンター市場でのプレゼンスを高めるとともに、AIを活用したサービスによって新たな市場開拓を推進いたします。また、デジタル庁発足に伴い今後さらに加速するであろう、企業のDXを支援するサービスの提供に向けた取組みに注力いたしました。

電子デバイス事業においては、車載情報機器向け液晶パネルの販売やGIGAスクール構想関連ビジネスが伸長するものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による需要低迷及びサプライチェーンの停滞の影響を受け、受注高、売上高が減少いたしました。一方、営業活動経費が減少したことにより営業利益は増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高53,006百万円(前年同四半期比6.2%減)となりました。また、損益面につきましては、営業利益221百万円(前年同四半期比79.0%減)、経常利益230百万円(前年同四半期比78.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円(前年同四半期比77.3%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 情報ネットワークソリューションサービス

機器につきましては、金融保険業向けの営業職員用スマートフォン大規模導入商談、行政機関向けのサーバ・ストレージ導入商談、コロナ禍により導入が進むリモートワークに適した軽量PCの需要が旺盛だったものの、前期のマイクロソフト製品のサポート終了に伴うサーバ・PCの更新需要の反動により、前年を下回りました。

開発・構築につきましては、医療、旅行業、アパレル業のお客様においてコロナ禍での商談の延伸及び開発、構築作業の遅延があり、前年を下回りました。

サービスにつきましては、一部の顧客による保守の解約等がありましたが、新たに販売した機器の保守・運用が伸長し、前年と同水準を維持しました。

この結果、情報ネットワークソリューションサービスは売上高43,162百万円(前年同四半期比5.1%減)、営業利益185百万円(前年同四半期比82.6%減)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間より、情報ネットワークソリューションサービスセグメントの事業実態をより正確に把握するため、経営管理区分を変更しております。詳細は次に示すセグメントごとの販売実績及び受注実績に記載しております。

#### 電子デバイス

デバイスビジネスにつきましては、自動車市場が需要回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるFA機器市場の需要低迷が続き、売上高は低調に推移しました。

システムビジネスにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により民生機器向けHDD及び、社会インフラ機器向け組み込みサーバが低迷しましたが、国内車載情報機器向け液晶パネルの需要が回復、またGIGAスクール構想向けアプライアンスサーバソリューションビジネスが伸長したことにより売上高は堅調に推移しました。

利益面につきましては、システムビジネスが堅調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症による国内外出張等の自粛措置等により営業活動経費が減少したことにより、増益となりました。

また、連結子会社であった(株)三築ツヅキシステムを2020年3月31日に株式譲渡したことにより、売上高が減少いたしました。

この結果、電子デバイスは売上高9,843百万円(前年同四半期比10.7%減)、営業利益36百万円(前年同四半期は営業損失10百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における販売実績及び受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
 なお、当社グループは、事業実態をより正確に把握するために子会社を含め経営管理区分を見直し、当第2四半期連結累計期間より、情報ネットワークソリューションサービスセグメント内の区分を従来のネットワークインテグレーション、システムインテグレーション、サービスビジネスから以下のとおり変更しております。

<変更後の区分>

- 機器 : 情報・通信機器の販売  
 開発・構築 : コンサルティング、設計、開発、構築の技術提供  
 サービス : 情報・通信機器、ソフトウェア等の運用・保守、クラウド等の月額サービスの提供

以下の前第2四半期連結累計期間の実績は、変更後の区分にて記載しております。

① 販売実績

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間		
		前年同四半期比		
情報ネットワークソリューションサービス	45,483	43,162	△2,320	94.9%
機器	20,059	19,073	△986	95.1%
開発・構築	7,524	6,266	△1,257	83.3%
サービス	17,898	17,822	△76	99.6%
電子デバイス	11,024	9,843	△1,181	89.3%
合計	56,507	53,006	△3,501	93.8%

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注高

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間		
		前年同四半期比		
情報ネットワークソリューションサービス	53,496	50,642	△2,853	94.7%
機器	24,745	23,975	△769	96.9%
開発・構築	9,723	7,331	△2,391	75.4%
サービス	19,027	19,335	308	101.6%
電子デバイス	10,649	10,034	△614	94.2%
合計	64,145	60,677	△3,468	94.6%

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 受注残高

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間		
		前年同四半期比		
情報ネットワークソリューションサービス	25,718	22,779	△2,939	88.6%
機器	14,217	14,201	△16	99.9%
開発・構築	7,725	4,918	△2,807	63.7%
サービス	3,775	3,659	△115	96.9%
電子デバイス	6,874	5,707	△1,166	83.0%
合計	32,593	28,487	△4,106	87.4%

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ④ 新区分による過去の販売実績

&lt;新区分&gt;

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第1四半期	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間
情報ネットワークソリューションサービス	102,104	19,309	43,162
機器	44,789	8,608	19,073
開発・構築	19,669	2,262	6,266
サービス	37,645	8,437	17,822
電子デバイス	23,261	4,333	9,843
合計	125,366	23,642	53,006

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

&lt;ご参考：旧区分&gt;

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第1四半期	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間
情報ネットワークソリューションサービス	102,104	19,309	43,162
ネットワークインテグレーション	16,762	3,712	7,928
システムインテグレーション	43,219	6,814	16,141
サービスビジネス	42,123	8,781	19,092
電子デバイス	23,261	4,333	9,843
合計	125,366	23,642	53,006

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して5,930百万円減少し、71,518百万円となりました。この主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少5,954百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して5,897百万円減少し、41,798百万円となりました。この主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少3,398百万円及びリース債務の減少434百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して33百万円減少し、29,719百万円となり、自己資本比率は41.3%(前連結会計年度末は38.4%)となりました。この主な減少要因は、剰余金の配当818百万円に伴う利益剰余金の減少によるものであり、主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円の計上に伴う利益剰余金の増加、資本剰余金の増加201百万円及びその他有価証券評価差額金の増加354百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せないものの、社会経済活動のレベル引き上げに伴い、第2四半期から徐々に経済活動が正常化しており、2020年5月15日に公表しました2021年3月期の業績予想に変更はありません。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響の変化によって、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,473	16,289
受取手形及び売掛金	26,537	20,582
電子記録債権	3,390	2,554
たな卸資産	8,485	10,792
未収還付法人税等	1	1
その他	1,428	1,567
貸倒引当金	△77	△78
流動資産合計	58,239	51,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,753	1,780
減価償却累計額	△924	△929
建物及び構築物(純額)	829	851
機械装置及び運搬具	7	7
減価償却累計額	△5	△6
機械装置及び運搬具(純額)	1	1
土地	2,221	2,221
リース資産	5,712	5,783
減価償却累計額	△2,402	△2,809
リース資産(純額)	3,310	2,973
建設仮勘定	267	486
その他	951	1,156
減価償却累計額	△700	△753
その他(純額)	250	402
有形固定資産合計	6,882	6,937
無形固定資産		
のれん	—	285
リース資産	640	577
その他	2,417	2,285
無形固定資産合計	3,057	3,147
投資その他の資産		
投資有価証券	3,770	4,190
長期貸付金	35	33
繰延税金資産	4,182	4,203
その他	1,339	1,378
貸倒引当金	△58	△83
投資その他の資産合計	9,269	9,723
固定資産合計	19,208	19,808
資産合計	77,448	71,518



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,863	14,464
短期借入金	4,802	4,837
1年内返済予定の長期借入金	20	27
リース債務	1,443	1,496
未払法人税等	806	308
賞与引当金	2,536	2,275
受注損失引当金	98	1
その他	5,880	4,609
流動負債合計	33,449	28,022
固定負債		
長期借入金	4,170	4,192
リース債務	2,825	2,338
繰延税金負債	7	6
退職給付に係る負債	6,805	6,580
長期末払金	27	27
その他の引当金	366	558
その他	43	73
固定負債合計	14,245	13,776
負債合計	47,695	41,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,812	9,812
資本剰余金	2,581	2,782
利益剰余金	21,021	20,352
自己株式	△3,785	△3,866
株主資本合計	29,629	29,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	690	1,044
繰延ヘッジ損益	△1	△3
為替換算調整勘定	10	2
退職給付に係る調整累計額	△575	△556
その他の包括利益累計額合計	123	487
非支配株主持分	—	151
純資産合計	29,752	29,719
負債純資産合計	77,448	71,518

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	56,507	53,006
売上原価	46,294	43,915
売上総利益	10,212	9,090
販売費及び一般管理費	9,158	8,869
営業利益	1,054	221
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	54	54
為替差益	7	—
その他	47	37
営業外収益合計	111	93
営業外費用		
支払利息	75	63
為替差損	—	8
その他	32	12
営業外費用合計	108	84
経常利益	1,057	230
特別利益		
段階取得に係る差益	—	13
投資有価証券売却益	32	35
特別利益合計	32	49
特別損失		
固定資産除却損	—	3
投資有価証券評価損	—	69
特別退職金	104	—
特別損失合計	104	73
税金等調整前四半期純利益	985	206
法人税等	327	57
四半期純利益	658	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	658	149

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	658	149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	354
繰延ヘッジ損益	—	△2
為替換算調整勘定	△36	△7
退職給付に係る調整額	△26	19
その他の包括利益合計	△116	363
四半期包括利益	541	512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	541	512
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	985	206
減価償却費	1,096	1,189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	25
賞与引当金の増減額(△は減少)	△207	△269
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△125	△203
受注損失引当金の増減額(△は減少)	43	△96
その他の引当金の増減額(△は減少)	192	191
受取利息及び受取配当金	△56	△56
支払利息	75	63
為替差損益(△は益)	△7	8
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△13
投資有価証券売却損益(△は益)	△32	△35
固定資産除却損	—	3
投資有価証券評価損益(△は益)	—	69
その他の営業外損益(△は益)	96	△24
売上債権の増減額(△は増加)	5,887	6,883
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,418	△2,297
その他の資産の増減額(△は増加)	△111	△30
仕入債務の増減額(△は減少)	231	△3,398
未払消費税等の増減額(△は減少)	△309	△913
その他の負債の増減額(△は減少)	△203	△533
小計	4,124	767
利息及び配当金の受取額	56	56
利息の支払額	△75	△63
その他の収入	46	37
その他の支出	△24	△12
特別退職金の支払額	△104	—
法人税等の支払額	△668	△636
法人税等の還付額	0	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,353	154

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△628	△704
有形固定資産の売却による収入	825	259
無形固定資産の取得による支出	△641	△387
無形固定資産の売却による収入	135	107
投資有価証券の取得による支出	△23	△22
投資有価証券の売却による収入	413	53
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△246
貸付金の回収による収入	2	1
その他	197	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	280	△865
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,706	37
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△745	△791
長期借入金の返済による支出	△3,074	△10
長期借入れによる収入	2,900	—
自己株式の取得による支出	△0	△264
自己株式の処分による収入	52	385
配当金の支払額	△527	△818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,100	△1,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△491	△2,183
現金及び現金同等物の期首残高	15,409	18,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,918	16,272

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報ネットワー クソリューション サービス	電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,483	11,024	56,507	—	56,507
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20	135	155	△155	—
計	45,503	11,160	56,663	△155	56,507
セグメント利益又は損失(△)	1,063	△10	1,052	1	1,054

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報ネットワー クソリューション サービス	電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,162	9,843	53,006	—	53,006
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	113	115	△115	—
計	43,165	9,956	53,121	△115	53,006
セグメント利益	185	36	221	0	221

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。